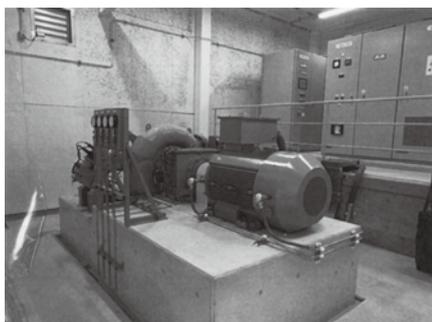


産業常任委員会 管内視察報告

産業常任委員会で、6月に実施しました管内視察について各委員の感想を交えて報告します。

①石神小水力発電施設

この小水力発電施設は、平成26年度から整備し平成30年10月頃から供用開始されます。発電された電力は全て北陸電力に売電。維持管理費を除いた剰余金は、市内の農業集落排水施設の電気料金に充当される予定です。



発電施設内の設備

わずかな水量で発電できることが認識され、同様な施設の整備の可能性を感じました。

②社会福祉法人神東会

この事業所では、「女性の社会進出促進補助制度」により、託児施設設置、子供用トイレ改修、託児用備品の購入、保育士等パート賃金に対して補助を受けました。

この事業は、市内事業所に勤める女性社員が、産休・育休・介護休暇等で退職することなく、安心して働き続けることができる職場環境を整備することに對して、対象事業費の1/2以内【上限100万円】を3年にわたって補助申請することができるとのことです。

27度は8件、28年度は4件、29年度は3件の申請があり、今回視察した神東会は、27年から29年度に採択された事業所です。

中でもパート賃金補助は、人材確保等にタイムリーな政策であると感じ、今後は独立した支援としてのパート賃金補助の検討が必要と感じました。



③玄の子土地改良事業対象地区の現状視察

平成29年5月に古川町是重地区において、玄の子土地改良事業推進協議会が設立されました。



予定地 面積 15.8ha

この土地改良事業は、現存する農地をこの先10年後、20年後も健全に維持し次の世代に繋いで行くために、地域の担い手農家等に農地を集積・集約して守っていくという事業です。

事業完成までには、約6年の歳月がかかると聞きました。が、これまでのご苦労を感じるとともに、丁寧な話し合いの積み重ねで一步一步前進してほしいと思います。

④株式会社吉城コンボ

この施設は、古川町高野地内にあります。畜産農家の問題点である家畜の糞尿処理と悪臭・害虫・水質汚濁等の環境汚染をなくし環境問題の緩和を図る目的で建設されたものです。各委員の意見等は次のとおり。

飛騨牛を繁殖するためには、必要不可欠の施設。その存続のための支援が大切と感じました。

⑤飛騨牛繁殖センター

飛騨地域の畜産業は、生産額で農業全体の39%を占める重要な産業。しかし農家戸数・飼育頭数の減少により生産基盤の弱体化が顕著となっております。このため、県・市・農業協同組合による産・官地域内連携型として県内初の仮称飛騨牛研修・繁殖センターを古川町中野地内において整備するものです。建設の支援、運営主体への出資など計画されています。(繁殖牛100頭)

畜産業の発展・担い手の育成が期待できるとともに研修終了者の就農の支援が必要と感じました。

(産業常任委員長 森 要)

編集後記

飛騨市と新港郷友好都市提携1周年記念式典が交流センターで約500名が参加開催された。式典の前日に、開催された歓迎交流会において、日本語のわかる女性と話をすることが出来た。彼女に東日本大震災の義援金253億円の御礼を伝えたいところ、「それ以前に日本に感謝することがあるから当然です」という言葉だった。「台湾で起こった大震災の際、日本が最初に助けに来てくれた。だから恩返しです」と話し、さらに「八田与一を知っていますか。彼は最も台湾で有名な感謝すべき日本人です。」と続けた。

八田与一は、日本統治時代の1930年に完成した当時東洋一の「烏山頭ダム」を10年かかりで建設した。ダムの建設により新港郷を含む華南大平原の洪水と干ばつを繰り返す不毛の土地を豊穡の大地に変えた恩人である。今でも台湾で尊敬されている日本人であり、「台湾の教科書」に掲載されている偉人である。活躍した日本人がいることに感動を覚えた。

(中嶋 国 則)